

# 弓削商船高等専門学校

## 【準学士課程・専攻科課程共通】

### ◎校訓

みなぎる気力と、たゆまぬ努力で、めざそう、悔いなき学生生活

### ◎教育方針

1. 自然科学及び専門技術の基礎力を身につけ、高度化かつ多様化してゆく科学技術に柔軟に対応できる人材の育成
2. 身の回りの諸現象、特に海をとりまく自然・文化・歴史に好奇心を抱き、多角的に考えたり調べたりできる、独創力のある人材の育成
3. 日本および世界の文化や社会に関心を持ち、国際的視野でのものがみられ、しかも人間として、技術者として高い倫理観をもった人材の育成

## 【専攻科課程】

	◎教育目標	◎アドミッションポリシー（入学者受入方針）	◎カリキュラムポリシー（カリキュラム編成方針）	◎ディプロマポリシー（修了認定方針）
海上輸送システム工学専攻	<p>海上輸送システムや船舶機関システムに関する分野を中心とした専門的な技術を教育し、システムの運用、開発、商船学・工学的センスを身につけた実践的な海事管理技術者の育成</p>	<p>○求める学生像</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工学的素養を身につけ海事関係分野で活躍したい人</li> <li>・海上輸送管理技術を身につけ社会で活躍したい人</li> </ul> <p>○選抜の基本方針（推薦による選抜）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・推薦書、調査書、並びに本校で実施する面接の結果を総合して選抜します。</li> <li>（学力検査による選抜）</li> <li>・本校で実施する学力検査（専門科目、英語、数学）の成績、調査書及び面接の結果を総合して選抜します。</li> <li>（社会人特別選抜）</li> <li>・推薦書、調査書及び面接（専門科目に関する口頭試問を含む）の結果を総合して選抜します。</li> </ul>	<p>海上輸送システム工学専攻は、海上輸送システムや船舶機関システムに関する分野を中心とした専門的な技術を教育し、システムの運用、開発、管理、商船学・工学的センスを身につけた実践的な海事管理技術者を育成します。具体的には、教育目標に沿って以下のように教育課程を編成します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 海上輸送システムや船舶機関システムに関する共通（航海系、機関系）の専門教育を行い幅広い技術的視野を育成します。</li> <li>2 本科の航海・機関コースでの実践的船舶運航技術に加え、運航管理、海事シミュレーション、海洋環境、海運、法規、機関、制御、エネルギー、コンピュータ、材料などに関する深い専門教育を行います。</li> <li>3 海事科学実験、海事科学演習、技術英語、海外インターシップを取り入れ、幅広い国際的視野、独創的開発能力、コミュニケーション能力を育成します。</li> </ol> <p>すべての科目はシラバスに明示した学習到達目標の達成を確認するため、試験、小テスト、レポート等を用いて総合的に評価します。また、各科目の合格によりディプロマ・ポリシーに掲げた学習成果を達成したものとします。</p>	<p>海上輸送システム工学専攻は、所定の単位を修得して以下のような能力を身につけた学生に修了を認定します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 1・2級海技士国家試験筆記（航海、または機関）の知識相当を理解できる。</li> <li>2 海上輸送システム（運航管理、海事シミュレーション、海洋環境、海運、法規、機関、制御、エネルギー、コンピュータ、材料など）の知識・技能を身につけ活用できる。</li> <li>3 海事分野における専門英語を理解でき、日本語での口頭および文書による的確な報告ができる。</li> </ol>
生産システム工学専攻	<p>機械・情報系を中心とした複合的工業分野における専門的な知識と技術を教育し、瀬戸内海地域に貢献できるものづくりやシステム開発の能力と国際感覚をもつ実践的専門技術者の育成</p>	<p>○求める学生像</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・手と頭脳が同時に働く実践的技術者を目指す人</li> <li>・コミュニケーション能力と国際感覚を備えたい人</li> </ul> <p>○選抜の基本方針（推薦による選抜）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・推薦書、調査書、並びに本校で実施する面接の結果を総合して選抜します。</li> <li>（学力検査による選抜）</li> <li>・本校で実施する学力検査（専門科目、英語、数学）の成績、調査書及び面接の結果を総合して選抜します。</li> <li>（社会人特別選抜）</li> <li>・推薦書、調査書及び面接（専門科目に関する口頭試問を含む）の結果を総合して選抜します。</li> </ul>	<p>生産システム工学専攻は、機械・情報系を中心とした複合的工業分野における専門的な知識と技術を教育し、瀬戸内海地域に貢献できるものづくりやシステム開発の能力と国際感覚をもつ実践的専門技術者を育成します。具体的には、教育目標に沿って以下のように教育課程を編成します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 自らが関係する技術の実践が地域社会や公共の利益に貢献できるかどうかについて理性的・論理的判断をする能力を身につけた倫理観の高い技術者を育成します。</li> <li>2 工学基礎となる数学・自然科学等の知識および専門分野の知識・技能を習得し、それらを応用する能力を身につけた実践的技術者を養成します。</li> <li>3 他者と議論・協同して活動することでより良い成果を出すために、グローバル化社会に貢献できる国際性や、異文化を理解できる教養をもち、コミュニケーション能力の高い技術者を養成します。</li> <li>4 必修科目として「特別研究」を設け、定期的に指導教員から履修や研究計画の指導・助言による研究計画書および研究報告書の作成および発表により、専攻科カリキュラム全体の総合的な達成をはかります。</li> </ol> <p>すべての科目はシラバスに明示した学習到達目標の達成を確認するため、試験、小テスト、レポート等を用いて総合的に評価します。また、各科目の合格によりディプロマ・ポリシーに掲げた学習成果を達成したものとします。</p>	<p>生産システム工学専攻は、所定の単位を修得して以下のような能力を身につけた学生に修了を認定します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 技術が社会と自然に及ぼす影響と効果を理解し、その利用に関して技術者として正しい判断ができる。</li> <li>2 技術者として持つべき、幅広い学問全般の教養、専門分野における基礎的および専門的な知識、「実験」・「演習」等の科目履修による実践的工学の技術、技能を修得している。</li> <li>3 「特別研究」の履修を通して、学んだ専門分野の知識・技能を活かして研究を計画的に推進するための論理的思考力、課題探究力、問題解決力、それを分かりやすく文書および口頭で表現伝達できるコミュニケーション能力を修得している。</li> </ol>